



国際ロータリー第2820地区 第2分區

東海那珂ロータリークラブ会報



2024年1月24日
No.21(第1640回)

TOKAI-NAKA ROTARY CLUB

Since 1986

世界に希望を生み出そう

大久保 博之ガバナー 地区スローガン

「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」

田中 宏和会長 スローガン

「みんなの力で再出発」

本日のプログラム

第1640回例会 2024年1月24日(水)18:30～
於 ホテル・クリスタルパレス
クラブ協議会<5> 前期事業報告及び後期事業計画

次回のプログラム

第1641回例会 2024年2月7日(水)12:30～
於 ホテル・クリスタルパレス
月間テーマ卓話
国際奉仕委員会 (浅川 清司 委員長)

2024年1月24日例会(第1640回)

クラブ協議会<5>

前期事業報告及び後期事業計画

(注)資料は例会場で配布します

2024年1月17日例会(第1639回) 報告

【お客様】

国際ロータリー第2820地区

職業奉仕総括委員長 安 圭一様 (水戸RC)

幹事報告

報告者 佐藤 広道幹事

1. 第2分區IMが2月25日(日)13:30～ クリスタルパレスにて開催されます。全員参加が基本です。会員各位の出席をよろしくお願いいたします。
2. 来週(1/24)の例会は「クラブ協議会」です。前期事業報告と後期事業計画の報告があります。各委員長様は原稿を24日(月)までに会報委員会までお送りください。当日の会報に掲載します。
3. 「希望の風」の寄付 (7月、大久保ガバナー取り纏め)に対してお礼

状が届きました。回覧いたします。

4. 12月チルドレンズホームよりご招待を受けた「クリスマス祝会」に会長・幹事が出席しました。そのお礼状が届きました。回覧いたします。

5. 12月に短期交換留学(タイ バンコク)へ参加してきた高橋琢会員の息子から当クラブにお土産を頂きました。本日皆様にお配りしています。

出席報告

報告者 出席委員会 佐藤 誠委員長

会員数	出席免除者(うち出席)	対象会員数	出席者	欠席者	出席率 (%)
33	5(うち出席3)	31	24	7	77.42

出席免除者(下線は例会出席)

清宮 武雄会員、高橋 昭会員、中井 英一郎会員、大部 泉会員、瀬谷 利雄会員

ニコニコありがとうございます。本日は7名の方から計25,000円いただきました。皆さまのご協力を、よろしくお願いいたします。

会員氏名	よろこびの言葉	
安 圭一様 (お客様)	本日の卓話、よろしくお願いいたします。	藤田会員、桐嶋会員、本日の例会の際、よろこびの言葉等の紹介が漏れてしまいました。謹んでお詫び申し上げます。 (ニコニコボックス委員会)
藤田 明英	安職業奉仕総括委員長様 本日は卓話よろしくお願いいたします。 妻の誕生日祝い ありがとうございます。	
桐嶋 健二	お誕生日祝いをいただき、ありがとうございました。	
中井英一郎	今年も新年早々に家内の誕生日祝いの花籠が届きました。ありがとうございました。	
佐藤 広道	職業奉仕総括委員長 安様 本日の卓話よろしくお願いいたします。	
田中 宏和	安圭一地区職業奉仕総括委員長様、本日の卓話宜しくおしいいたします。	
富永 康修	安圭一地区職業奉仕総括委員長様、ロータリー活動の根幹となる職業奉仕の卓話、楽しみにしています。	

2023-2024ニコニコボックス実績(年間目標100万円)

(単位:千円)

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
152	72	55	73	49	84	72	*	*	*	*	*	557

月間テーマ卓話(職業奉仕月間 外部卓話)

「ロータリークラブ活動における職業奉仕について」

国際ロータリー第2820地区 安 圭一 職業奉仕総括委員長

【富永 康修 職業奉仕委員長による挨拶、講師紹介】



本日は、第2820地区の職業奉仕総括委員長である安 圭一様に「ロータリークラブ活動における職業奉仕について」というタイトルで、卓話をさせていただきます。

安様は、水戸ロータリークラブの所属で、行政書士として活躍されています。

2820地区のホームページ上にある奉仕プロジェクトリーグ時の研修会における安様のメッセージには、次のように記されています。

この度、職業奉仕委員会に携わらせていただくことになったことを機会に、改めてロータリーの職業奉仕について調べてみました。その

結果、ロータリアンとしての自覚を私自身が持っていなかったことに気付かされました。職業奉仕という理念は、ロータリークラブの基本理念そのものであり、ロータリークラブに入会する当初から身につけておかなければならない「心構え」であり、「生き方」であることを知りました。さらに、職業人の集まりであるロータリークラブにおいては、職業奉仕は単なる理念ではなく、実践されるべきものであるということを知り、ロータリークラブが世界的規模で活躍していることこの原動力がここにあったのかと感動しました。…

また、安様は、今年のメンタルヘルスの講習では自ら実験台となり、その際の写真も公開されるなど、まさに体を張って貢献されています。

安様、本日は、よろしくお願いいたします。

【卓話について】

安様のお話は、「ロータリアンの行動規範」、「職業奉仕の手引き:実践しよう」をベースに、ロータリーの基本理念、職業奉仕とは何か、職業奉仕の概念といった基本事項の確認からスタートしました。

職業奉仕という概念が、職業上の高い倫理基準、役立つ仕事はすべて価値あるものという認識、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。職業奉仕という概念が、職業奉仕がロータリーの核心であり、地域社会で奉仕活動を行う土台となるものであることを、あらためて学びました。

そのとき重要なのが「実践」ということ。高い倫理基準の実践を通じて高潔性を推進することがロータリアンとして不可欠ということです。そして、ロータリアンが倫理的行動を行ううえでの指針となるものとして、「四つのテスト」、「ロータリーの行動規範」が生まれ、世界中のロータリアンがこれを用いているということです。

以上のような説明の中で、安様ご自身の経験や、今回地区総括委員長となるに際してのエピソードなどについても紹介がありました。

大久保ガバナーが所属する水戸RCの会員であり、大久保ガバナーが

らのご指名は、それは意味のあることだったのだろうと推測されます。所属クラブの例会にもなかなか出席できないと仰るほどご多忙な中で、地区総括委員長としてさぞかしお忙しい日々なのではと、考えてしまいました。

今年度、地区の職業奉仕委員会の方針として、「メンタルヘルス」に注目した研修会を実施していることの紹介もありました。水戸RCの会員でもある、精神科医の高沢彰先生、高尾哲也先生による出前卓話も行っているとのことでした。

本日の安様の卓話の中で一番残ったのが「職業奉仕は、単なる精神的な指針ではなく、行動することが大切です」この言葉です。

職業奉仕というと、とかく意味するものが何かだとか、その意義であるとか、頭でっかちな整理をしがちに思いますが、行動しなければ何も生まれ、行動しなければ何も変わらない、実践あつてのものだということ、あらためて認識しました。(クラブ会報委員長 猪股真純)

※安様の配布資料を次ページに掲載しましたので、ご覧ください





2023年1月17日

国際ロータリー第2820地区

2023-2024年度 奉仕プロジェクトリーグ

職業奉仕総括委員長 安 圭一

「職業奉仕について」

ロータリーの基本と言われる「職業奉仕」について改めて学びましょう、という月間となりました。そこで、まずはから確認したいと思います。

1 ロータリーの基本理念

ロータリーの目的は、「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこと。」にあります。具体的には、次の各項を奨励しています。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

職業奉仕は、「目的」の第2項を土台としており、それによれば、ロータリアンは次のことを奨励し、育むことが求められています。

職業上の高い倫理基準を保つこと。役立つ仕事はすべて価値あるものという認識すること。社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

さらに、職業奉仕の実践として、具体的にいくつかの方法が提案されています。

①例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う。

②地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす。

③高潔さを重んじて仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す。

④若者のキャリア目標を支援する。

⑤専門能力の開発を奨励し、指導する。

職業奉仕はロータリーの核心であり、世界中の地域社会で奉仕を行う土台となるものです。即ち、社会奉仕や国際奉仕、青少年奉仕を実施する全てのロータリアンが共有する価値基準で

2023年1月17日

国際ロータリー第2820地区

2023-2024年度 奉仕プロジェクトリーグ

職業奉仕総括委員長 安 圭一

す。ロータリークラブには、多様な職業や経験をもつ会員がおり、地域社会のさまざまなビジネス、団体とのつながりを生かした活動が実践されています。ロータリアンには 職業スキルを奉仕に生かし、自らの職業をクラブで代表するとともに、職場においてもロータリーの理念を
実践することが求められています。職業奉仕は単なる精神的な指針ではなく、行動することが大切です。

2 職業奉仕の歴史

「職業奉仕とは何でしょうか。結論から述べると、職業生活を営んでいく上で、自らの事業に関連する関係者(顧客・従業員・取引業者)を対象にして行う全ての活動を総称して、職業奉仕と呼んでいます。

従って職業奉仕の活動の場は、自らの職場だということになりますし、奉仕活動の主人公は、事業主であるあなた自身だということになります。そして職業奉仕を実践した成果は、これらの関係者全員に及びます。

この考え方を提唱したのが、アーサー・フレデリック・シェルドンであり、それを具体的に表すモットーとして作られたフレーズが、「He profits most who serves best 最も多く奉仕する者、最も多く報いられる」です。

なお、このモットーは、元来、1902年に創立された、シェルドン・スクールのために作られたモットーであり、「The Golden Rule 黄金律 Do unto others as you would have them do unto you 貴方が他人からしてもらいたいことを、先に他人にしてあげなさい」を経営学に基づく奉仕理念に基づいて分かり易く言い直した文章だと説明しています。」

以上 田中毅「シェルドンの奉仕理念」

ロータリーにとって重要な奉仕理念である職業奉仕について、その歴史的な変遷を踏まえ、現代社会において存分にその理念を実践できるよう、学ぶ機会を設けてまいります。また、本年度は近年話題になっている「メンタルヘルス」に注目した研修会を実施しています。コロナや戦争といった様々な問題が起こっている現代社会では、全ての人の精神的なサポートが必要とされています。職業人として、必要な知識及び実践方法についての研修会を実施し、月信での発信も行い、出張卓話も実施していきます。

「職業奉仕」について、一緒に学んでみませんか。

地区ロータリー財団セミナー 受講報告

1. 日 時:2024年1月20日(土) 14:00 ~ 17:30
2. 会 場:水戸 三の丸ホテル
3. 出席者:海野宏幸
4. 内 容
大久保ガバナー、新井財団委員会総括委員長、飯村ロータリー財団第一地域
コーディネーターからの挨拶に続き、セミナー及びパネルディスカッション
【セミナー】「2820地区財団の現状」
 - ・ローターアクトが活躍した補助金事業
 - ・ポリオプラスの現状
 - ・令和6年能登半島地震緊急支援について
 - ・グローバル補助金事業について
 - ・国際交流奨学金の現状について【ロータリー財団の最新情報】
【パネルディスカッション】 テーマ「補助金プロジェクトの質をたかめるには」
5名のパネラーによるテーマの討論会
飯村財団第1地域コーディネーターからの講評
5. 大高ガバナーエレクト、瀬戸ガバナーノミニーからの総評・講評を伺い、終了。

◆クラブ会報委員会からのお願い◆

会員間の一層のコミュニケーション向上を目指して！「会員からの情報欄」の記事を募集しています。趣味の話、ペットのこと、お気に入りの散歩コースなどジャンルは不問。幅広い話題をお寄せくださいますようお願いいたします。

東海那珂ロータリークラブ

クラブ事務所 〒311-0103 茨城県那珂市横堀1721-6 常陸環境株式会社
電話090-7517-2473/E-mail:tokainakarotary@gmail.com
例 会 場 〒312-0023 茨城県ひたちなか市大平1-22-1 ホテルクリスタルパレス
電話029-273-7711
クラブ会報委員会 委員長 猪股真純 /副委員長 島田智和/委員 高橋 琢、藤澤 亮、富永 康修

例会欠席の場合は、必ず前日までに事務局に連絡してください